

報道関係各位

2026年9月2日
京都駅ビル開発株式会社



京都駅ビルが、アートに染まる18日間。

「第2回 京都駅ビル芸術祭 ゲイジツツノエキ2026／GNE」開催 — 伝統文化×現代アート×エンターテインメントが京都駅に集結 —

京都駅ビル開発株式会社(京都市下京区、代表取締役社長:橋本 修男)が運営する京都駅ビルは、「人・まち・文化が交流することで新たな賑わいが生まれるプラットフォーム」となることをめざし、駅前広場や大階段を活用しながら、地域の様々な関係者の皆様と連携したイベントの企画に取り組んでまいりました。

その取組みの一環として、2026年10月17日(土)から11月3日(火・祝)まで、「第2回京都駅ビル芸術祭 ゲイジツツノエキ2026／GNE」を開催いたします。

本芸術祭は2025年に「Mash up KYOTO from the station.」をコンセプトにスタートし、初年度は32万人が来場されました。第2回を迎える今年は、内容を更に充実させ、京都駅ビル各所と京都市内の寺社仏閣を舞台に、伝統文化と現代アート、多彩なエンターテインメントが交差する芸術祭を展開いたします。

1. 開催概要

項 目	内 容
名 称	第2回 京都駅ビル芸術祭 ゲイジツツノエキ2026／GNE
会 期	2026年10月17日(土)～11月3日(火・祝)
時 間	13:00～20:00
会 場	駅前広場、南北自由通路北側、室町小路広場、南広場、東広場 総本山御室仁和寺、妙心寺塔頭桂春院、東本願寺ほか
入場料	無料(一部ワークショップ・体験企画、特別ツアーは有料)

2. 京都駅ビル芸術祭のコンセプト

「Mash up KYOTO from the station.」

「Mash up(マッシュアップ)」とは、本来異なるものを組み合わせ、新しい価値を生み出すことを意味する言葉です。本芸術祭では、伝統文化と現代アート、文化とエンターテインメント、人と人、そして駅とまちをつなぎ、多様な出会いから新たな価値を創出する文化芸術のプラットフォームである京都駅ビルを起点に京都全体へ広がる新たな文化体験を創出します。

2026年は「& NOCTURNE KYOTO」を演出テーマとして、昼間は多くの人で賑わう京都駅ビルが、夜には光とアートが織りなす幻想的な空間へと変貌し、昼と夜で異なる表情をお楽しみいただけます。

3. キービジュアルについて

今年のキービジュアルは、現代アーティストの若佐慎一氏が制作しました。神社仏閣の狛犬に見られる「阿形・吽形」の思想を、一対の猫として表現。対になる存在が呼応し合う姿は、本芸術祭のコンセプトである「Mash up KYOTO from the station.」を象徴しています。



若佐 慎一(わかさ しんいち)

1982 年広島生まれ。広島市立大学大学院修士課程 修了。

大学で日本の伝統画法を学び、卒業制作を同大学の首席作品として買い上げられる。卒業後、月刊美術主催公募展「デビュー」にて準グランプリ受賞。日本の風土と宗教観をテーマに、漫画やゲーム、アニメの特徴とされる要素を作品内に取り込み制作する。

活動は国内外問わずその場を広げ、伝統工芸の「長艸繡巧房」への原画提供や、自身のシグネチャーでもある招き猫様を主としたファッションブランド「Ørum (オルム)」を立ち上げるなど多岐にわたる活動を見せる。栃木県立美術館、広島市立大学、円覚寺塔頭龍院庵、東福寺塔頭 光明院、広島信用金庫に作品所蔵。

4. 注目コンテンツ(第一弾)

(1) ステージイベント(一例)

駅前広場のステージでは、「Mash up」を体感できる多彩なステージイベントをご用意します。

開幕を彩るオープニングステージでは、和太鼓エンターテインメント集団「DRUM TAO」による迫力あるステージや、書道家・三重野文緒氏と三味線奏者・匹田大智氏による書道パフォーマンスなど、伝統文化と現代的な表現が融合する特別なプログラムをご用意します。詳細は後日お知らせします。

(2) 期間中の主なイベント

駅前広場には、トレーラーを活用した小さなアートギャラリー「ART & CRAFT BOX」が登場します。手塚治虫のキャラクターたちと京都の老舗扇子店「宮脇賣扇庵」によるコラボレーション作品など、伝統工芸と現代アートが融合した作品を展示予定です。このほかにも、期間中は京都駅ビル各所で多彩なアート作品をご覧いただけます。詳細は後日お知らせします。

(3)企業コラボレーション(一例)

バンダイナムコエンターテインメントの「IP-Art × PAC-MAN」の展示をはじめ、京都駅ビル各所と人気コンテンツが融合するアート企画や、手塚治虫作品『ユニコ』との連携企画など、多彩な企業コラボレーションを展開します。

4. 京都駅ビル芸術祭特別ツアーを「tabiwa」で発売

芸術祭のコンセプト「Mash up」を京都駅ビルの外へ広げる取り組みとして、京都の歴史や文化を深く体験できる特別ツアーを実施します。ツアー商品は、JR西日本グループが提供する観光ナビサービス「tabiwa(たびわ)」で販売します。



(1) 総本山御室仁和寺・福王子神社

世界遺産・仁和寺と福王子神社秋季大祭(神輿巡行)を舞台に、文化財や歴史をより深く学べるツアーや非公開エリアの見学、「建築」、「仏像」、「日本画」の専門家による特別ガイドツアー。

(2) 大本山妙心寺の塔頭寺院 桂春院

妙心寺塔頭・桂春院の静謐な空間で、禅や日本庭園、京都独自の美意識に触れる体験型ツアー。

(3) 東本願寺・渉成園

詳細決まり次第、ホームページにてお知らせします。

(4) 詳細・申込

仁和寺・福王子神社秋季大祭を楽しむプラン(日帰り)

https://www.nta.co.jp/jrodekakenet/plan/n/202608_fukuojininnaji.htm

「建築・仏像・日本画」の専門家と僧侶の解説で知る仁和寺(日帰り)

https://www.nta.co.jp/jrodekakenet/plan/n/202609_ninnajisptheme.htm

禅寺 桂春院閉門後特別拝観と茶室特別公開(日帰り)

https://www.nta.co.jp/jrodekakenet/plan/n/202609_keisyunin.htm

5. 今後の情報発信

(1)公式ホームページ・公式 Instagram 公開 2026 年 9 月 2 日

ホームページ <https://kyotostation-gne.jp/>

Instagram https://www.instagram.com/geijiyutu_no_eki

(2)プレスリリース第2弾 2026 年 9 月 24 日(予定)

展示作品の作家紹介、ステージイベントなどの詳細を発表予定。

(3)プレスリリース第3弾 2026 年 10 月6日(予定)

会場マップ、タイムテーブル、見どころなど、芸術祭の全容を公開予定。